

*****佛事の常識・非常識*****

Q:身内の葬儀で、「ふぎ」を呼ぶのはどの範囲までですか？A:主に兄弟が担いました。

高松市内等で、葬儀の際に住職と役僧以外に、「ふぎ」と呼ばれるお坊さんを手配し賑やかに勤め上げて差し上げる習慣があります。「ふぎ」という字は正確には「諷経（ふぎん）」あるいは「諷経（ふぎん）僧」と書きます。読経することを仏教の専門用語で「諷誦（ふうじゅ）」と言うことに由来します。この習慣は、どなたか亡くなると、主にその兄弟たちが花輪や盛り籠などを供えることで弔意を示し、喪主と協力して葬儀を執り行うように、「諷経（ふぎん）僧」を招いて賑やかに勤め上げて差し上げていました。要するに葬儀の負担を、近親者で分かち合い、喪主の負担を軽減する知恵であったのだと思います。10人ぐらいのお坊さんが集まって読経するということがあったぐらいでした。なので誰が招くのかという範囲は、持ちつ持たれつのお付き合いをどの範囲でしているのかによります。ところがこの習慣、「家族葬」なる言葉が流行り出した頃から急速に失われ、より一層喪主の負担が大きくなった気がします。家族の死去と言う危機を、地縁血縁で乗り越えるのが合理的だったのです。

*****ハッピープレゼントクイズ*****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！
正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。



問:お正月に讃岐で食されている全国的に珍しいお雑煮とは、次の3つの中のものから選びなさい？

- ①味噌カレー牛乳雑煮 ②あんもち白みそ雑煮 ③あん肝トムヤムクン雑煮

答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。
〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。

先月の答え、①の「108回」でした。人間の煩惱の数と言われていますね。

*****坊守の月イチブログ*****

今年もよろしくお祈りします



2015年はあっという間に終わりました。
何も無いのが平和の証、いいですね。
毎年なのですが、大晦日はおせちとおそばの用意で終わります。
高松のおそばはしっぽくそば、大根や人参などの根菜とお肉や天ぷら、おあげを炊きこんだ具だくさんの出汁をかけていただきます。
家族揃っておそばを食べてからテレビを観て笑う。
子ども達は普段は遠く離れて住んでいるので、何か特別な事をしなくても、一緒に食卓を囲むだけで充分楽しいです。
未成年がいなくなったので、お酒も一緒に楽しめるようになりました。
2016年も何も無い平和な一年になりますように。

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡下さい。

徳成寺ホームページ : <http://www.tokujoji.com/>